

常葉大学の学生に自衛隊を紹介



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、3月8日（水）、オークラクトシティホテル浜松（浜松市中区）で開催された常葉大学主催の「合同企業説明会」に参加した。

これは、県内外の様々な企業や公的機関の採用担当者が一堂に会し、来春に就職を目指す学生を対象に仕事内容や待遇、採用相談を行うものである。

当日は300名余の学生が来場し、応募を考えている企業ブースにそれぞれ足を運んだ。自衛隊説明ブースにも開始直後から説明を希望する多くの学生連が訪れ、興味・関心の高さがうかがえた。

広報官が自衛隊の組織や任務、職域等について説明を行うと、「各職種や勤務環境について知りたい」「訓練の内容を詳しく知りたい」といった具体的な質問が多く聞かれ、それぞれが自衛官という職業を職業選択肢として真剣に考えていることが感じられた説明会であった。

静岡地本は、今後もこのような大学等の企業説明会の場を通じて自衛隊及び国防の重要性に対する理解促進を図るとともに、職業としての自衛官を認知してもらい、これからの自衛隊を支えていく熱意ある若者の獲得に邁進していく。

陸上自衛隊男子隊員入隊式で激励



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、4月8日（土）と9日（日）の2日間、自衛官候補生入隊式及び一般曹候補生入隊式に参加し、静岡県内から入隊した121人を激励した。

入隊者は3月31及び4月1日に、御殿場市にある板妻・駒門各駐屯地に着隊し、身体検査及び自衛官としての服務の宣誓を行い、晴れてこの日の入隊式を迎えるに至った。

入隊式は部内外の来賓と保護者が見守る中で粛々と進み、真新しい陸上自衛隊の緑色の制服に身を包んだ入隊者の表情は、自衛官としての覚悟と決意が感じられ、参列した保護者も、1週間前に旅立った我が子の成長に感激しているようであった。

式典終了後、県内入隊者に激励の言葉をかけると、晴れやかな笑顔で「仲間と共にこの教育隊で頑張り、立派な自衛官を目指します」と力強く話していた。

これから行われる教育は、陸上自衛官として必要な基礎知識を約3か月間学び、強い精神力と体力を段階的に錬成するとともに、教育を通じて規則正しい生活習慣を身に付け、任務を達成するための苦しさや喜び、そして仲間との連帯感を体験することで、一歩ずつ国防という責任を担う自衛官として成長していくことになる。

静岡地本は、今後も自衛隊と県内出身隊員との連携を大切にしながら、入隊者と送り出した家族のサポートに努めるとともに、国防に熱意ある志望者の獲得に邁進していく。